



2016年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団

連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

昨年度に引き続き、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第2回は、阿部彩氏をお招きして、「子どもの貧困—解決策を考える」というテーマでご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第2回：子どもの貧困—解決策を考える

日時 2016年11月5日(土) 14:30~16:30 (14:00 開場)

場所 法政大学大学院棟 201 教室

講師：阿部 彩 氏
首都大学東京教授



阿部彩(あべあや)氏のプロフィール

マサチューセッツ工科大学卒。タフツ大学フレッチャー外交法律大学院修士・博士号取得。国際連合、海外経済協力基金を経て、1999年より国立社会保障・人口問題研究所に勤務。2015年4月より現職。専門は、貧困、社会的排除、社会保障、生活保護。著書に、『子どもの貧困—日本の不公平を考える』（岩波書店、2008年）、『弱者の居場所がない社会』（講談社、2011年）、『子どもの貧困Ⅱ—解決策を考える』（岩波書店、2014年）、『生活保護の経済分析』（共著、東京大学出版会、2008）にて日経経済図書文化賞受賞。

【会場】法政大学大学院棟案内図

プログラム

* 来聴歓迎 *

14:30 ~ 16:00 講演
16:00 ~ 16:30 質疑応答

～お問い合わせ～

連帯社会研究交流センター
(ReCSS)

URL: <http://recss.jp>

e-mail: info@recss.jp

東京メトロ南北線/有楽町線「市谷駅」

5番出口下車徒歩3分

